

# 自治会 第71号 あつぎ

## 目 標

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的活動から
- ◎行政と協働で楽しく豊かな地域社会

平成29年3月15日発行

発行 厚木市自治会連絡協議会  
編集 厚木市自治会連絡協議会広報部会  
電話046(225)2101

ネットは

## 3月は、自治会加入促進強化月間

厚木市自治会連絡協議会

地域の皆様の支え合い、助け合いが地域を作っております。皆様のこれまでの経験や地域を良くしたいという思いを是非、自治会で活かしてみませんか。

### 多くの皆様にご加入を!!

自治会活動は、地域の皆様  
の活動に支えられています。よ  
りよい地域を作るため、多くの  
皆様に参加していただくことが  
必要です。

自治会では、新たに住民とな  
った方々を中心に、自治会活動  
の意義や楽しさを伝え、自治会  
への加入を呼び掛けています。

特に転入者が多い3月は、  
加入促進強化月間と位置付  
け、全市的に加入促進を展開

しています。

市役所に訪れた転入者へチ  
ラシを配布してもらおうなど、  
市と連携した活動を行って  
います。自治会に加入して  
いない方は、この機会に加入し  
てみませんか。加入に当たっ  
ては、お住まいの地域の自治  
会長や組長、班長にご連絡く  
ださい。分からない場合は、  
厚木市市民協働推進課（TEL 2  
25局2101）にお問い合わせ  
を心からお待ちしています。



防犯パトロールで地域の安心・安全を守る



多くの人で賑わう、どんと焼き

### フェイスブックで

### 自治会活動を紹介!!

自治会は、住民同士のつな  
がりを育み、住みよい地域づ  
くりを進めるため、次のよう  
な事業を行っています。

- 一 防犯・交通安全事業  
(防犯パトロールや子どもた  
ちの登下校の見守りなど)
  - 一 文化・レクリエーション  
事業  
(夏祭り、盆踊り、運動会など)
  - 一 自主防災事業  
(自主防災隊研修会の実  
施、防災訓練の実施など)
  - 一 環境美化事業  
(ごみ集積所の維持・管  
理、地域の清掃など)
  - 一 福祉事業  
(高齢者の見守りなど)
- 各地域の様々な活動を  
フェイスブックで紹介し  
ております。是非、ご覧  
ください。

厚木 自治会 フェイスブック

### 平成28年度役員紹介

会 長	前 場 政行 (玉川)
副 会 長	山 村 勝美 (睦合南)
会 計	神 保 忠男 (森の里)
庶 務	渡 邊 征一 (南毛利南)
	毛 利 昇 (狹野)
	栗 進 (厚木北)
	三 田 哲夫 (厚木南)
	加 藤 和正 (依知北)
	渡 邊 勝三 (依知南)
	山 口 末夫 (睦合北)
	池 永 和夫 (睦合西)
	山 田 充 (小 鮎)
	前 田 満 (南毛利)
	菊 池 美明 (相 川)
	佐 々 木 安雄 (緑ヶ丘)
	陣 内 忠彦 (厚木北)
	足 立 原 将 (厚木南)
	堀 口 恵太郎 (依知北)
	竹 内 光一 (依知南)
	志 賀 繁政 (睦合北)
	石 井 勝巳 (睦合南)
	栗 原 富栄 (睦合西)
	高 橋 修一 (狹野)
	横 岩 康平 (狹野)
	松 本 享一 (小 鮎)
	山 口 泉 (南毛利)
	前 田 征治 (南毛利)
	高 澤 浩通 (南毛利南)
	高 橋 正一 (玉 川)
	永 嶋 信一 (森の里)
	大 貫 太郎 (相 川)
	笹 山 惠一郎 (緑ヶ丘)



祭りの後のハッピーの日干し模様

### 大人になった子どもたちが 帰ってきます

厚木南地区  
幸町自治会  
会長 牧田 光正

厚木南地区幸町自治会は、本厚木駅から東に5分程歩いたところにある静かな住宅街です。昔から住んでいる住民、新しく引っ越してきた住民が、毎月第一日曜日に、河原の幸町遊園地を集まり、清掃とミーティングを行っています。ミーティングでは地区内の問題点・行事のやり方等を話し合っています。

行事は夏のお祭り、秋のパーベキュー、冬の餅つきがあります。20数年前のことですが、子供がまだ小さかった頃、私は子ども会育成会の役員とし

て、地区の子供たちと遊んでいました。今は大人になって、行事に子供を連れて来るお父さんお母さんを見ても、すぐには誰だかわかりません。しかし手をつないでいるお子様を見ると、あの頃のこと為何となく思い出されます。

お父さんも、同じようにやんちゃだったんだよ。DNAは確実に受け継がれています。遠くに住んでいる、今は大人になったかつての小学生が、たまに帰って来て行事に参加すると、仲間同士、昔話でおおいに盛り上がります。

このような行事が、いつまで続くのかなと、時々考えますが、でもまあ、なるようにしかならないのかな？

### 昔ながらの行事を 新しいカタチで

依知北地区  
上依知中町自治会  
会長 森田 均

私ども上依知中町自治会は、新年のどんと焼きを新しいスタイルで二年前から皆様と一緒に焼いています。

昔はワラと紙のお飾りを自分の家で作りました。しかし、近年はビニール系の印刷物で出来ている正月飾りばかりで



新しいスタイルでのどんと焼きの様子

す。燃やすと悪臭がして、それで焼くお団子は無病息災どころか体に有害な感じがします。

新しいスタイルとは、和菓子店で「みたらし団子」を長い竹串にしていたいただき、ちよつと焼いていただきます。昔ながらのしきたりでは体に具合が悪いと思ひ、長く焼く必要がない「団子」にしました。

現在では、批判もありますが、どんと焼きも大切な行事ですので継承していきたいです。何より子ども達も喜んで美味しそうに食べています。

上依知中町自治会では、地区健康祭り、納涼祭り、パードゴルフ、防災訓練と色々な行事がありますが、もつと大勢の方が参加していただけたらと思っています。最近では、近所同士での会話

する機会がなく、近隣のお付き合いが出来るようなきっかけが掴めないのではないのでしょうか？

ですからいつもイベントに参加するよう、声を掛けるように心掛けています。

皆様が喜んで色々な行事に参加していただけたら、自治会の活性化にも繋がると思っています。

### 防災・防犯の地区を 目指して

睦合南地区  
三家自治会  
会長 山本 智明

三家自治会は、妻田東にあり、北に睦合東中、南に妻田小の間に位置しています。

会員は260世帯くらい小さな自治会ですが、隣近所の顔が分かることは大変良いことです。

近年は商店も少なくなり、古くから住まわれている方には少しさみしく感じられることでしょう。例にもれず高齢化が進むと共に子どもたちの歓声を聞くことも少なくなってきました。

自治会存在の大きな目的は、助け合いと親睦です。その絆を深めるために夏祭

り、防災訓練、大掃除、どんと焼きなどの行事を行っています。その行事を通して声を掛け合い、交流を深めていきたいと考えています。隣近所の名前と顔を知ることが防災や防犯にとつても役立つことです。

自治会組織の福祉部を中心に、お年寄りや子ども達に声掛けを行い、行事に参加しやすいように努めています。

青少年健全育成会は子ども達が気軽に集まれる映画鑑賞会やボウリング大会などを工夫して行っています。

これからの課題は、いつかやって来るであろう大きな災害に向けての対策です。機材や食料を確保することはもとより、自主防災隊の組織づくりや訓練も充実させていきたいと考えています。



夏祭りの様子



### 子合地蔵尊を 中心とした組織力

荻野地区  
子中自治会  
会長 毛利 昇

「荻野は一つ」のモットーで  
まとまる30自治会の中で、子  
合・中金井地区で構成してい  
る子中自治会は、県立厚木北  
高校、神奈川工科大学がある、  
生活・自然環境豊かな加入世  
帯760戸の自治会です。

当自治会は、日本三昧子合  
地蔵尊を中心とした組織力が  
特徴の自治会です。最近、組  
織力が低下していると言われ  
ている子ども会や婦人部も健  
在で、しあわせクラブ寿会、  
自治会長経験者や地区の学識  
者等で構成している環境整備  
部、地蔵尊保存会をはじめ、体  
育環境美化・行事・文化の各部、  
さらに親睦団体の青友会(結



地蔵尊のお祭りの模様

成40年、青春とは心の若さが  
モットー)で構成されます。

地名ゆかりの子合地蔵尊の  
子合は、子宝に恵まれるとい  
う意味で、子宝、安産、子育て、  
開運長寿にご利益があり、江  
戸時代には大山と同様に関東  
一円の信仰を集めました。

公民館、地蔵尊、公園が隣接  
一体で地区の中心に位置し、長  
い地蔵尊の歴史は、同時に地蔵  
尊を守り続けてきた子中住民  
の歴史と誇りであり、心のより  
どころとなっています。自治会  
の最大イベントである地蔵尊  
のお祭りは、毎年8月15日、16  
日(年に一度の御開帳)に開催  
し、帰省者ともども楽しんでい  
ます。

また、諸先輩が常に後輩を  
サポートしてまとまりがあり、  
道路も受益者負担の考えによ  
り、いち早く拡幅整備されま  
した。これらの素晴らしい先  
進的な考え方、これが子中自  
治会の伝統となっています。

### タイムカプセル

荻野地区  
本郷自治会  
会長 井上 太一

本郷自治会は、146世帯  
の会員で構成され、その多く  
の人が古くからこの地に暮ら



厳島神社の前で記念撮影

しています。

本郷自治会の特色は、地域  
にある3つの神社(稲荷神社、  
厳島神社、大六天山王権現)  
の管理運営を総代さんとも  
に行っていることです。

これらの神社が地域の氏神  
様としてみんなで大切にしてい  
こうと自治会員の皆さん全  
員が氏子という位置づけにし  
ているからです。この神社の  
主な行事は、2年に1回の祭  
礼です。

中でも厳島神社では、昭和  
59年に神社を建て替えた時に  
その祭壇下の空洞に地域の  
人々が今の地域の様子などを  
30年後に残そうと地域の写真  
や絵・作文などをタイムカプ  
セルとして入れました。そし  
て2年前の厳島神社の祭礼が  
ちょうど30年目で、取り出し

て、みんなで当時のものを懐  
かしむことが出来ました。

今年の厳島神社祭礼では、  
皆さんの要望もあり、もう一  
度30年後の人々に今の地域の  
様子を残しておこうと、寿会、  
子ども会、消防団・婦人部・  
青年団など様々な団体に呼び  
かけた皆さんの品物をタイム  
カプセルとして厳島神社に収  
納することができました。

地域の人々の願いが30年後  
に繋がっていくことを楽しみ  
にしています。

### 合同によるセルフコミュニティ 活動の取り組みについて

小鮎地区  
本厚木ハイデンス自治会  
会長 高橋 和博

当自治会は昭和57年2月、  
小金原自治会地区内の一部に  
建設された総戸数136の中  
規模マンションで、その半年  
後に誕生した比較的歴史の浅  
い自治会です。

当時のマンション建設に際  
しては、一部の地元住民より  
一堂に多くの転居者が入るこ  
とで防犯、騒音問題等の他に  
電波障害の懸念を挙げ、販売  
施工会社との合意に至るまで  
は紆余曲折があったと聞いて  
おります。

自治会活動を開始した当初  
は、年齢も若く、何かと大変  
で、小金原自治会とは希薄な  
関係が続いていました。

しかしながら、活動を継続  
する中で双方の歴代会長や役  
員方々の努力によって協力関  
係を醸成し、今では防犯パト  
ロール・防災訓練及びミニデ  
イサービスの共同開催等、幅  
広く友好的に行っています。

今回、地区の自治連の会長  
より安心・安全セルフコミュ  
ニティ推進の指定地区として  
推奨を頂いており、小金原自  
治会へ協同活動の依頼をし、  
快諾を頂きました。

これからも合同の防犯パト  
ロール活動の継続と併せ「地  
域安全マップづくり」を進め、  
防犯・防災等に対する住民の  
意識向上を図り、より安心・  
安全で住み良い環境づくりに  
努めて参ります。



防犯パトロールでの集合写真

### 将来を見据えた 自治会活動を

小鮎地区

下古沢上分自治会

会長 伊藤 桂

私達の自治会は、静かな里山としての景観を残した自治会です。私の子供の頃は、夏にはホタルが乱舞していました。

しかし、平成十四年に厚木市旭町の火葬場の移転話を持ち上がり、自治会を二分する大きな問題となりました。

自治会は、市側と協議を重ね、平成十九年一月に厚木市長と上分自治会長が「基本協定書」を締結、さらに協議を重ねる中、平成二十四年四月に厚木市斎場が竣工致しました。

自治会は、自治会員の安全・生活環境の改善などに取り組んでまいりました。残念ながら、いまだ未解決事項が残っています。自治会有志で斎



毎年見事な花を咲かせる「蓮」

場駐車場の清掃や、あやめ会による調整池周辺の芝刈りを行い、来場された方々に喜んでいただけるよう努力しています。調整池に植えた「蓮」は広報、新聞にも掲載されたように見事な花を咲かせています。

現在、自治会の課題は、厚木市環状三号線の建設問題であります。この三号線のために八世帯の方が住み慣れた住居を移転しなければならぬことです。自治会は移転先の検討を行い、三号線開通に向けて努力しているところです。

このような課題の多い状況の中にあっても私達自治会は、先人が残した伝統をしっかり守っています。それは年間行事の一つである「納涼祭」です。中でも子供達が叩く太鼓に合わせて会員が輪になって踊る姿は素晴らしく、私達にも明るい未来があると信じ、今後も自治会活動を続けてまいります。

### 連合自治会で地域の絆

南毛利地区

長谷連合自治会

会長 前田 征治

長谷連合自治会は、1,969世帯の自治会員を抱えた南毛利地区の自治会です。



盆踊り大会模擬店準備中

上長谷、谷戸長谷、中長谷、下長谷、長谷清水の5自治会があり、長谷連合自治会全体とそれぞれ独自の活動の二つの面をもって活動しています。

連合自治会としての活動は、年度当初の総会からスタートして、ふる里祭り、納涼盆踊り大会やあそびフェスティバル等、絆を結ぶ行事をが中心になります。

防災訓練は、避難所が共通という関係で二つの単位自治会が連携を図っています。

年明けには、同じ日にそれぞれの自治会がそれぞれの場所、地域に密着したどんど焼きを開催しています。

また、単位自治会独自の活動では、芋煮会、もちつきやクリスマス会などの親睦を兼ねた行事を開催しています。

いずれも過去の歴史の中で培われて現在に至っています。行事それぞれ自体開催するこ

とだけが目的ではないと思っ  
ています。

このような活動を通して、会員のコミュニケーションを図り、いざという時のための連携を深め、本来の自治会が機能するように工夫を凝らしています。

地域に暮らす自治会員の安全で安心できる生活。長谷連合自治会長5人はそれぞれ頑張っています。

### 毛利台の夏まつり

南毛利地区

毛利台自治会連絡協議会

会長 佐藤 忠紘

毛利台団地には1,500世帯が生活しており、1丁目・2丁目・3丁目・ハイツと4つの自治会があります。当初は東京や横浜方面へ通勤している人が多く、近所の人間関係も希薄で、街としてのまとまりをどうするか、当時の自治会の苦労は大きかったことと想像されます。

時が流れ、住人の高齢化が進み、現在は市内で1、2を競う高齢化率となつて、孫が「故郷の毛利台」へお盆で帰省するのが最近の状況です。

毛利台で最大のイベントは4つの自治会が合同で主催して行う夏祭りです。夏祭りを始めた

頃は、毛利台に神社も鎮守さまもなく、住民の心をどう結び付けていこうか思案にくれたようです。そんな気持ちで察してか、当時の市議会議員であった故落合一成氏から1台神輿を寄贈していただきました。毛利台小学校のグラウンドを借用した会場にその神輿を運び入れ、それを中心に盆踊りの輪ができました。その後、3間四方の立派な木製の櫓も立てました。

各自治会、老人会、青少年健全育成会、こども110番とそれぞれに工夫した模擬店が会場を賑わしています。毛利台小学校児童によるダンス、玉川中学校吹奏楽部の演奏など地域、学校のご協力をいただき、夏祭りを盛り立てていただいています。

今後ますます地域が、血の通った温かいものになるよう自治会として努力していきたいと思ひます



夏祭りでの玉川中吹奏楽部の演奏